

圭陵会FAXニュース

発行所：岩手医科大学圭陵会
 発行人：石川 育成 編集人：酒井 明夫
 連絡先：TEL 019-624-8386 FAX 019-624-8380
 E-mail: info@keiryokai.gr.jp

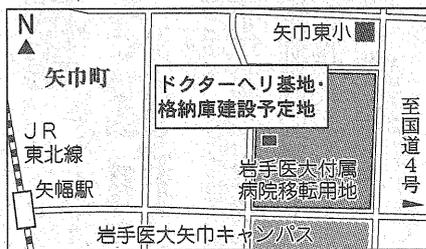
第14号内容
 ・ドクターヘリ 来春運航へ
 発進基地 矢巾に起工

岩手日報 H23.12.2

来春運航へ 整備本格化



ドクターヘリ発進基地の建設予定地。後ろは岩手医大矢巾キャンパス＝矢巾町藤沢



本県のドクターヘリにて矢巾町の発進基地が
 は医師と看護師を乗せ、現場で患者を

ドクターヘリ

発進基地 矢巾に起工

八戸市は広域 運用視野 隣県と連携課題

緊急搬送用ドクターヘリの発進基地と格納庫の起工式は1日、矢巾町藤沢の岩手医大付属病院移転予定地で行われた。2012年度の運航開始に向け、ハード整備が本格化。今後は県内各地で離着陸場の選定などを行う。既にヘリの運航が始まっている八戸市は本県の東北地域との広域運用も視野に入れており、今後は隣県との連携が進む可能性もあろう。

乗せて盛岡市内丸の岩手医大付属病院近くの離着陸場に降りる。その後、患者を救急車に引き継ぎ、同病院に収容する仕組み。

起工式には同大や県の関係者ら約50人が出席し、同大の小川彰学長が「導入により救急患者の迅速な広域搬送が可能になり、救命率の向上に貢献できる」とあいさつした。

発進基地は同大矢巾キャンパス北側の付属病院移転予定地内に建設される。延べ床面積は430平方メートル。ヘリポートのほか、医師や看護師の待機所、事務室などが整備される。

12年3月までに完成させ、4月ごろから病院間搬送など試験運航を繰り返す。早期の本格運航を目指す。2月ごろまでに県内各地で病院の近隣や河川敷など離着陸場の選定など

を行う。

現在、東北では青森、福島との県がドクターヘリを導入。秋田県は12年1月からの運航を予定し、山形県は12年度内の導入を目指している。

11月30日の青森県議会で三村申吾知事は、12年度中に2機体制にする方針を表明。これを受けて、小林真八戸市長は同日八戸市で開かれた三圏域（八戸、久慈、二戸）連携懇談会の席上、「岩手県北との広域運用も視野に入れ活用を考えたい」と連携に前向きな姿勢を示した。

同席した山内隆文久慈市長は「県境を越えた運航協力体制をぜひとも構築する必要がある」と同意した。

県土が広く、医師不足という課題を抱える本県にとって、導入による救命率向上に期待

がかかる。また、運航開始後は隣県との連携態勢構築も課題だ。

県医療推進課の佐々木亨地域医療推進担当課長は「まずは県内の本格的な運航をしっかりと行う。隣県との連携態勢は今後の課題で、青森県などと情報共有しながら検討していきたい」と話す。